

<p style="text-align: center;"><b>地域情報システム論</b> Area Informatics</p>	<p>(教員名) 永田 好克</p>	
<p>情報システム創成研究分野 中核科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>2単位</p>	<p>2017年度・前期</p>
<p><b>I 科目の主題</b> 地理情報と連動した Web サービスやアプリケーションシステムが利便性を競う昨今である。地理情報の活用を考える際には、地理情報システム(GIS)に関する基礎知識の理解が必須となる。また、現在だけでなく過去の情報も活用するためには、位置情報の取り扱いに関する歴史的な経緯への理解も不可欠である。これらの基礎知識の理解に基づいて、位置情報を取得するための GPS 測位の技術と活用について実習を交えて考察する。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b> 地理情報システム(GIS)に関する基礎知識の習得を目標とする。位置情報の基礎となる測位方法について理解を深めるほか、測位の基準の変遷がもたらす留意事項について理解する。また学術的・文化的資料を活用する能力を涵養する。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b>  第1回 回転楕円体と測地座標系  第2回 測量の基準点  第3回 地図投影法  第4回 GPS測位のしくみ  第5回 GPS測位実習と測位データの活用  第6回 地理情報に関するXML  第7回 地理情報に関するXMLとその編集  第8回 地理情報システムGIS  第9回 地域研究とGIS(1)  第10回 地域研究とGIS(2)  第11回 地域研究とGIS(3)  第12回 研究での活用事例(1) 模擬発表を含む  第13回 研究での活用事例(2) 模擬発表を含む  第14回 研究での活用事例(3) 模擬発表を含む  第15回 まとめ</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b> 授業中に紹介する参考図書などにより、専門用語や技術についての理解を深めること。</p>		
<p><b>V 評価方法</b> おおむね次の配分とする。平常点(40)、模擬発表(30)、課題(30)。平常点には小レポートを含む。</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b> 基礎知識だけでなく歴史的経緯も含めた理解が必須である。事例紹介、簡易実習、模擬発表を交えて議論しながら理解を深める。実習や模擬発表にも積極的に参加して欲しい。</p>		
<p><b>VII 教材</b> 授業資料は都度配布する。また、授業中に随時参考図書を紹介する。</p>		